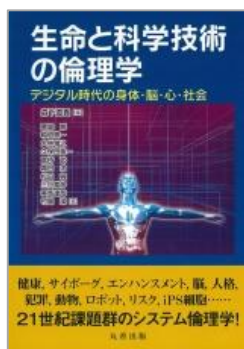
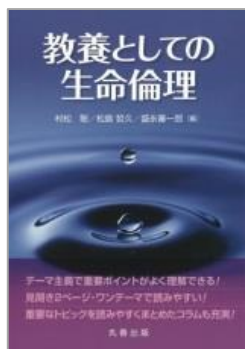




丸善出版

学生向けタイトルセクション

倫理学



書名	著編者	発行年	冊子版ISBN	同時 1アクセス (本体)	同時 3アクセス (本体)	商品コード
いまを生きるための倫理学(※)	盛永 審一郎・ 松島 哲久・ 小出 泰士 編	2019年	9784621070949	¥12,540	¥18,810	1031533285
現代社会ほど倫理やモラルが問われている時代はない。そのような状況において、現代人の心の中には今までの生き方やモラルを問い直そうとする気運も生まれてきている。本書は、生命、環境、教育から、家族に至るまで、生きるうえで見過ごすことのできないトピックを論題に立て、「倫理学」の知見をもとに平易に解説する。各テーマに精通する専門家が判断基準を提供する、1テーマ見開き完結の教養テキスト。						
教養としての生命倫理(※)	村松 聡・松島 哲久・ 盛永 審一郎 編	2016年	9784621071007	¥8,580	¥12,870	1020782149
本書は、生命倫理を単に医療内部の人間のための倫理としてのみ捉えてはいません。より広く、現代を代表する倫理としてとらえ、本書は構成されています。序章で「今、なぜ生命倫理なのか」における現代の応用倫理学・市民の倫理としての生命倫理学と、医療倫理としての生命倫理の問題を呈示します。第1章から第9章までで、生命倫理の原則と理論、様々な医療倫理に関する問題、人間の生の始まりから終わりまでの具体的な生命倫理諸問題を解説しています。最終章では、先進医療の問題を扱い、現代社会で最も喫緊の課題にいかん倫理的立場から取り組むべきかを呈示します。						
生命と科学技術の倫理学 デジタル時代の身体・脳・心・社会(※)	森下 直貴 編	2016年	9784621076859	¥9,240	¥13,860	1020598985
本書は、近未来のいわばデジタル世界を先取りし、生命(バイオ)技術を含めて人間に関連する先端科学技術のもたらす効果もしくは負荷に対して、私たちの社会がいかに対応したらよいかを探求する倫理学の本です。構成としては、序章では倫理の根本を押さえつつ、現代社会の中の科学技術システムの位置、科学技術倫理学とその根本問題および三つの基本課題を説明しています。これを受けて第1章から第11章までの各論では、身体・脳・心・社会をめぐって具体的事例をとりあげています。最後の結章では、三つの課題に対応する理論モデルが提案されています。						
科学者の発表倫理 —不正のない論文発表を考える—	山崎 茂明 著	2013年	9784621072073	¥8,580	¥12,870	1016123829
科学論文の書き方についてのガイドブックは、数多く刊行されていますが、発表倫理に焦点をあてたガイドは、ほとんど刊行されていません。本書は、公正な論文発表を目指す人々のための執筆ガイドとして、論文発表における不正行為(ミスコンダクト)の実態と影響を可視化して、ミスコンダクトは当事者の問題、研究者間の問題にとどまらないことを、具体例をあげながら解説してゆきます。						

【 現代社会の倫理を考える 】

監修 加藤尚武 立花 隆

社会の価値観が大きく変動した2000年代前半、日常生活のさまざまな領域における現代社会の倫理学について、当該一流の専門家による執筆により「現代社会の倫理を考える」シリーズとして刊行したものです。全17巻中、電子化可能な14巻をMaruzen eBook Libraryに収載いたしました。

書名	著編者	発行年	冊子版ISBN	同時 1アクセス (本体)	同時 3アクセス (本体)	商品コード
看護の倫理学 第2版 (現代社会の倫理を考える 1)	石井 トク 著	2008年	9784621078655	¥4,180	¥6,270	1008060869
看護倫理学の第一人者である筆者が、看護倫理の一般論から説き起こして、看護師のジレンマ、インフォームド・コンセントと意思決定、患者・医師・看護師関係、個人情報とプライバシーの保護、終末期ケア、看護師の社会的責任、看護師の法的責任、看護師の倫理的行動規範などについて、実際に起きた事件(事例)を紹介しながら、分かりやすく解説。最新知見が盛り込まれた「定番テキスト」の改訂版。看護婦から看護師への表記変更とともに、最新事例を盛り込んだ。						
生命と医療の倫理学 第2版 (現代社会の倫理を考える 2)	伊藤 道哉 著	2013年	9784621086728	¥4,400	¥6,600	1013312287
初版刊行から10年が経ち、医療倫理を巡る情勢の激変に伴い全面改訂。とりわけ「終末期医療の決定プロセスに関するガイドライン」等、終末期医療ガイドラインの整備や、ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する三省(文科省・厚生省・経産省)指針改訂、臓器の移植に関する法改正等、最新の状況を反映した内容に改めないと学生・実務家のニーズに対応できない状況になってきている。今後、確実に訪れる毎年170万人弱の大量死・在宅看取りへの大転換を支える、医療・介護・福祉・行政担当者等の道標として、本書第2版では内容を大幅刷新する。また未曾有の大震災の経験から、危機管理に関する内容を加え、医療現場スタッフの便も図る。						
公共政策の倫理学 (現代社会の倫理を考える 4)	河宮 信郎・青木 秀和 著	2002年	9784621070444	¥6,930	¥10,395	1027880041
現代日本の危機は「国民の富」が巨額の政府預金として蓄積され、それを取り崩すことが無尽蔵と思えるほどの政治利権となったことから生じた。しかもこれは国会議員と政府機構がその利権を当然の既得権とみなすかぎり、決して犯罪として断罪されることはない。このデッドロックを打開するための鍵を、様々な事例を取り上げながら解説し、財政崩壊を防ぐための整合的対策を考察する。						
職業の倫理学 (現代社会の倫理を考える 5)	田中 朋弘 著	2002年	9784621070581	¥6,270	¥9,405	1029684247
そもそも「仕事」とは何か? 「労働」とは何か? 「職業倫理」分野での活躍が目覚ましい筆者が、仕事と遊び、仕事と家事、仕事とボランティア、仕事と労働、働かないことと働けないこと、職業の倫理性、会社の不正行為、社員の内部告発…など、身近な具体例を盛り込みながら、じっくりと「職業倫理」の議論を展開。一般読者向けのみならず、大学テキストとしても最適。						
科学の倫理学 (現代社会の倫理を考える 6)	内井 惣七 著	2002年	9784621070543	¥6,270	¥9,405	1030183776
わが国を代表する科学哲学者にして、科学が生み出す倫理問題にも強い関心をもつ筆者が、科学研究の具体的な事例を離れた「抽象的な」倫理ではなく、近年大きな問題を投げかけている盗作事件、捏造事件など様々な事例を取り上げて、具体的に「科学の倫理」「科学者の倫理」を論じる、研究者必読の書。						

● 表示価格は税抜きです。 ● タイトル末尾の(※)はダウンロード不可です。

2020年11月

【 現代社会の倫理を考える 】

書名	著編者	発行年	冊子版ISBN	同時 1アクセス (本体)	同時 3アクセス (本体)	商品コード
教育の倫理学 (現代社会の倫理を考える 7)	加藤 尚武 著	2006年	9784621071182	¥4,180	¥6,270	1008139855
<p>クラスとカリキュラムという学校教育の枠の中に納まるような教育観を前提にしている日本の教育は、今こそ視野を広げ、家庭教育、英才教育、社会人教育を含めた人類全体が営んでいる教育全体の根本的な見直しについて言及する。プラトン以来の西洋教育哲学と儒教的教育哲学と教育史の大筋を描き、教材が印刷物から電子情報へと転換することの影響を根本的改革の契機としてとらえ、示唆に富む「教育の未来像」を提示する。</p>						
経済の倫理学 (現代社会の倫理を考える 8)	山脇 直司 著	2002年	9784621070949	¥6,270	¥9,405	1029883432
<p>現代では、経済学の支配的なパラダイムに象徴されるように、経済を倫理的に捉えるという観点が消えうせ、倫理なき経済の論理が一人歩きしている…。それに対し、「社会的存在としての人間の間での共存の規範・原理を考究する学問」(広辞苑)という意味での倫理学が経済の考察にも導入されなければならない。しかしまた、今日の経済危機の中で「経済の倫理学」を構想するためには、政策論や公共哲学とも密接に関連しなければ無力である。本書は、まさにこのような関心から出発しつつ、経済の倫理学を展開する試みである。</p>						
マスコミの倫理学 (現代社会の倫理を考える 9)	柏倉 康夫 著	2002年	9784621071007	¥6,270	¥9,405	1030183777
<p>報道優先か人命尊重か、松本サリン事件の教訓、実名報道か匿名報道か、性差別の現状、絵本「ちびくろさんぼ」再版論争、視聴率と視聴質、瀋陽事件とテレビ、戦争報道と検閲、テレビは戦争をどう伝えたか…。われわれ報道の受け手に大きなインパクトを与える「マスコミ報道」は、倫理的には本来どうあるべきなのか？世間を騒がせたいくつもの社会事件を取り上げながらマスコミ倫理を多角的に探る。</p>						
現代人の倫理学 (現代社会の倫理を考える 10)	加藤 尚武 著	2006年	9784621076859	¥4,180	¥6,270	1008139859
<p>社会の様々な側面を倫理的手法で解き明かす手腕に定評のある筆者が、幸福論、結婚観、教養、電子社会、情報発信、自然的生命、身体、心のかたち、美術、歴史、人生論など、我々現代人にとって興味関心の尽きない話題を取上げ、現代人が有すべき「倫理観」の本質を浮き彫りにする。</p>						
環境の倫理学 (現代社会の倫理を考える 11)	山内 廣隆 著	2003年	9784621072073	¥6,270	¥9,405	1030483158
<p>ドイツは環境先進国であるが、これまで日本に導入されてきたのは、例えば『ファクター4』など、現象面だけに偏っていた。だが、「環境先進国」には「環境先進国」たるべき哲学が存在する。本書では、わが国でこれまでほとんど論じられることのなかったドイツ古典哲学や現代ドイツの「実践的自然哲学」から地球環境問題を議論していく。「新しい環境倫理学」として、哲学史を踏まえながら基本問題を哲学の土俵上で議論する。</p>						

● 表示価格は税抜きです。 ● タイトル末尾の(※)はダウンロード不可です。

2020年11月

【 現代社会の倫理を考える 】

書名	著編者	発行年	冊子版ISBN	同時 1アクセス (本体)	同時 3アクセス (本体)	商品コード
性の倫理学 (現代社会の倫理を考える 12)	田村 公江 著	2004年	9784621072776	¥6,270	¥9,405	1030483159
性教育の目的について我々が共有すべき最低限の約束事、官能という言葉からとらえた性的快感、恋愛術やセックス技巧の本質、結婚と性、去勢不安…。性に関する様々な興味ある問題について、プラトンの『饗宴』、フロイト、ラカンの精神分析思想、フェミニズム思想などを道しるべに、明解な回答を試みる野心的論考。						
技術の倫理学 (現代社会の倫理を考える 13)	村田 純一 著	2006年	9784621077351	¥6,270	¥9,405	1030183778
技術とは、人と物、物と物、人と人との間を媒介する働きを持つ人工物を製作し、使用する活動のことで、複雑な相互作用を生み出し、不確実性が避けられない。技術の倫理学は、専門家としての技術者の倫理学にとどまらず、製作者と使用者、専門家と素人、技術と社会との「共生の倫理学」という形をとる。技術倫理の理解に不可欠な事例分析や技術者の責任に関する議論を取り上げて、それらを技術哲学の観点から捉えなおした野心作。						
家族の倫理学 (現代社会の倫理を考える 14)	志水 紀代子 著	2007年	9784621079119	¥6,270	¥9,405	1029834002
「家族」をめぐる今日的な問題、子どもの虐待や若者の居場所がない現実を踏まえつつ、現代のBYJ(ペ・ヨンジュン)人気提示しているものを掘り下げていく。また、社会の学校化現象に敢然と挑む大瀬敏昭校長を中心とする浜之郷小学校の教育実践を取り上げて、筆者自身がライフワークにしているアーレントの「世界」概念に繋げながら、これらを、これからの家族のあり方のヒントとして考えていく。野心的家族論を展開。						
情報の倫理学 (現代社会の倫理を考える 15)	水谷雅彦 著	2003年	9784621072707	¥4,180	¥6,270	1008060863
情報倫理学は、応用倫理学の最も新しい領域としてコンピュータ倫理学という性格をはるかに越える幅広い射程を持っている。メディア倫理や企業における「内部告発」、現代社会の特徴ともいえる「高度情報化社会」がどういう事態を指し示しているのか、さらに、「脳死と臓器移植」など、従来個別に議論されてきた領域を、「情報」という観点から捉えようとする。本書はこれらの問題を具体的な事例に基づきながらわかりやすく解説する。						
合意形成の倫理学 (現代社会の倫理を考える16)	加藤 尚武 著	2009年	9784621080696	¥6,930	¥10,395	1030681223
現代社会の様々な問題解決のために、我々はいかに合意とルールを形成させ、そして正義を確立させればいいのか—そのための最も有効な手段、それが応用倫理学である。本書では生命操作の行方、環境問題解決のための合意、刑罰・罰則のあり方など、近年世間を騒がした社会問題を俎上にのせ、応用倫理学の視点から明快なヴィジョンを提示する。						

● 表示価格は税抜きです。 ● タイトル末尾の(※)はダウンロード不可です。

2020年11月